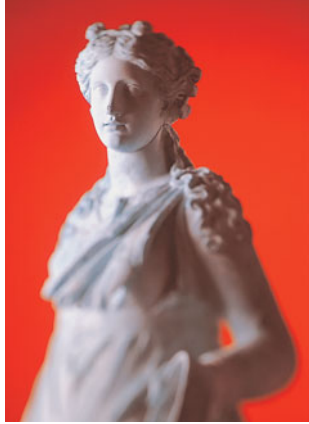


ふれあい港館で「地中海遺産美術展」開催中

古代の時空に思いをはせて

主催／産経新聞社ほか



女性像(2世紀)／大理石

西洋美術の「原点」ともいえる、古代地中海美術の逸品を集めた「地中海遺産美術展」(主催／産経新聞社ほか)が、大阪・南港のふれあい港館(インテックス大阪)で開催されています。

ルネサンス美術、古典美術、さらには近代・現代美術においても、常に芸術家たちの手本となり、影響を与えてきた古代地中海美術。エジプトから始まり、ギリシャ、ローマ時代を中心とした美術品は、まさに「人類の遺産」。そのクオリティー、完成度の高さは目を驚かすばかりです。

■関西初公開作品がスラリ
今回の美術展では、紀元前2500年のギラテス文明から、紀元400年のピザンチン文明までの、約3000年におよぶ古代地中海域の美術品を網羅。その数はなんと、計387点にも及びます。

学術的にも貴重な作品群は、いずれも今回が関西初公開という点も注目したいところ。
何かとせわしない今の時代だからこそ、古代の美術品が語りかけるささやきに、耳を傾けてみてみませんか？

会期 12月19日(日)まで
開催中。午前11時～午後6時(入場は午後5時30分まで)、月曜休館。※9月20日(祝・月)および10月11日(祝・月)は開館、いずれも翌日は休館

会場 ふれあい港館(インテックス大阪) 大阪市住之江区南港北1-10-12
アクセス 地下鉄中央線本町方面からOTS線に乗り



アプリア赤像式フィアレ(紀元前330年頃)／パテラの画家

継ぎ、「コスモスクエア」「トレードセンター前」駅各徒歩7分。地下鉄四つ橋線住之江公園駅から「ニュートラム」に乗り継ぎ、「中ふ頭」駅徒歩7分
料金 一般900円、大・高生700円、中学生以下無料(地中海遺産美術展のみ。ふれあい港館へは無料でご入館できます)

問い合わせ
地中海遺産美術展実行委員会事務局
☎06(6613)2411

